

第3期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)の全体像

総合戦略

将来像	国の政策分野／まちの基本目標	地方創生2.0 基本的な考え方	横断目標	重点プロジェクト	重要施策
みんなで創り みんなでつなぐ ずっと輝くまち めむろ	<p>国の政策分野1 地方に仕事をつくる</p> <p>まちの基本目標1 地域の産業力を高め、雇用の創出・安定へ</p>	1 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生	<p>1 デジタルのチカラで新たな価値と豊かさの創造をDX推進</p> <p>2 ゼロカーボンの実現に向けた地域脱炭素社会の構築をGX推進</p> <p>3 ずっと暮らし続けられる持続可能なまちづくりをSDGsの実現</p>	<p>重点プロジェクト1 「地域で稼ぎ」次代へつなぐプロジェクト</p>	<p>1 基幹産業である農業のさらなる成長産業化</p> <p>2 地域産業の競争力強化への支援と協働</p> <p>3 個性を磨く新たな観光振興への挑戦</p> <p>4 地域に根ざした雇用の創出・安定</p>
	<p>国の政策分野2 人の流れをつくる</p> <p>まちの基本目標2 住みたい、住み続けたい「まちの魅力と縁むすび」</p>	2 東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散		<p>重点プロジェクト2 あなたに届けたい「シティブロモーション」プロジェクト</p>	<p>1 魅力発掘・創造と発信の一体的な取組</p> <p>2 移住定住の促進と関係人口の拡大</p> <p>3 ふるさと納税、企業版ふるさと納税の推進</p>
	<p>国の政策分野3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>まちの基本目標3 「ゆりかごから巣立ちまで」切れ目のない支援</p>	3 付加価値創出型の新しい地方経済の創生		<p>重点プロジェクト3 子ども・子育て・教育～「未来を育む」プロジェクト</p>	<p>1 切れ目なく安心子育て</p> <p>2 「学びの力」で未来を拓き「生きる力」で未来を創る</p> <p>3 教育DXとGIGAスクールが描く新時代</p>
	<p>国の政策分野4 魅力的な地域をつくる</p> <p>まちの基本目標4 誰もが支え合い健康で活躍できるまち</p>	4 デジタル・新技術の徹底活用		<p>重点プロジェクト4 ほどよい田舎まちの「健康快適暮らし」プロジェクト</p>	<p>1 つながるケア、ひろがる安心で快適健康づくり</p> <p>2 多様性を尊重し誰もが活躍できるコミュニティ</p> <p>3 心地よさと暮らしやすさと心強さの生活環境</p>
	<p>国の政策分野5 まちの未来戦略の行政経営</p>	5 「産官学金労言」の連携など、国民的な機運の向上		<p>重点プロジェクト5 行政サービスの「進化への選択」プロジェクト</p>	<p>1 「選択と調和」による行政サービスの向上</p> <p>2 届ける、聴く、つなげる、地域を動かす核となる広報広聴</p> <p>3 業務改善・改革からデジタル技術の活用へ「芽室町DX推進ビジョン」</p>

人口動向分析／将来人口推計

中長期展望 (2070年まで)

【現状】

◆総人口
国勢調査において、2010(平成22)年にピーク(18,905人)を迎えたが、その後人口減少が続き、直近2020(令和2)年では18,048人となっている。

◆合計特殊出生率
2023(令和5)年の合計特殊出生率は減少を続け、1.20と全国平均並み。

◆自然増減
出生数よりも死亡数が多く、2020(令和2)年以降は、年間約100人の自然減が続いている。

◆社会増減
2014(平成26)年以降は転出超過が続いていたが、2023(令和5)年から転入数と転出数が同程度となる。

政策効果が人口動向に反映

【目標】

◆町独自推計の考え方
合計特殊出生率1.20を今後も維持するとともに、町の政策効果による転入増を見込む。

町独自推計において、2070(令和52)年時点で11,477人以上を目指す。

社人研推計では9,805人